

参 考 資 料

○平成18年度需要見込関連表	1
○平成17年度の血漿分画製剤需給状況（4月～12月実績）	2
○平成16年度の血漿分画製剤需給状況	3
○アルブミン製剤の製造量等の推移（H16年7月～H17年12月）	4
○免疫グロブリン製剤の製造量等の推移（H16年7月～H17年12月）	5
○血液凝固第Ⅷ因子製剤の製造量等の推移（H16年7月～H17年12月）	6
○原料血漿確保実績（H15年4月～H17年12月）	7
○原料血漿価格（日米）の推移	8
○血漿分画製剤の自給率の推移	9
○主な血漿分画製剤の自給率の推移	10
○アルブミン製剤の供給量と自給率	11
○免疫グロブリン製剤の供給量と自給率	12
○血液凝固第Ⅷ因子製剤の供給量と自給率	13
○血漿分画製剤の製造（輸入）実績報告集計表（H17年10月～12月）	14

平成18年度需要見込関連表

種類	換算規格	A	B	C	D=B+C	E	F	G	H=D-G	I
		H17年度 供給見込	H17年度末 在庫見込	H18年度製造 輸入見込量	H18年度 供給可能量	H18年度メカ 供給見込量	平均増減率 からの需要推 計	H18年度需 要見込量	H18年度末 在庫見込量	在庫量 (ヶ月 分)
アルブミン	25% 50ml 1瓶	3,277,300	644,900	3,353,100	3,998,000	3,387,500	3,255,500	3,255,500	742,500	2.7
乾燥人フィブリノゲン	1g 1瓶	2,300	600	3,100	3,800	2,400	2,500	2,500	1,300	6.2
組織接着剤	Cm ³	9,519,000	4,319,100	9,581,500	13,900,600	9,600,500	9,308,100	9,308,100	4,592,500	5.9
血液凝固第Ⅷ因子(遺伝子組 換え型含む)	1000単位 1瓶	298,900	69,500	339,700	409,300	336,100	328,900	328,900	80,400	2.9
乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因 子(複合体含)	1000単位 1瓶	38,700	9,200	37,500	46,700	35,300	36,400	36,400	10,300	3.4
インヒビター製剤	延人数	16,900	8,300	12,300	20,600	8,600	10,000	10,000	10,600	12.7
ヒト血漿由来乾燥血液凝固第 ⅩⅢ因子	1瓶	146,600	29,800	160,400	190,200	153,800	137,300	137,300	52,900	4.6
トロンピン(人由来)	10000単位 1瓶	37,686	42,100	29,600	71,700	36,100	29,800	29,800	41,900	16.9
人免疫グロブリン	2.5g 1瓶	1,331,300	355,500	1,490,800	1,846,300	1,440,800	1,315,400	1,315,400	530,900	4.8
抗HBs人免疫グロブリン	1000単位 1瓶	22,000	14,300	21,800	36,100	21,000	23,700	23,700	12,400	6.3
乾燥抗D(Rho)人免疫グロブ リン	1000倍 1瓶	9,000	9,400	7,000	16,400	8,700	9,000	9,000	7,400	9.9
抗破傷風人免疫グロブリン	250単位 1瓶	84,200	49,300	113,800	163,100	83,900	75,200	75,200	87,900	14.0
乾燥濃縮人アンチトロンピン Ⅲ	500単位 1瓶	369,300	86,600	340,600	427,200	367,600	387,800	387,800	39,400	1.2
乾燥濃縮人活性化プロテイン C	2500単位 1瓶	140	300	300	600	300	300	300	300	12.0
人ハプトグロビン	2000単位 1瓶	44,500	3,600	41,200	44,800	43,900	43,900	43,900	900	0.2
乾燥濃縮人CI-インアクチベーター	1瓶	550	820	0	820	420	630	630	190	3.6

平成17年度の血漿分画製剤の需給状況(4月～12月実績)

製剤名	換算規格・単位	製造・輸入量		③供給量	自給率(供給ベース)	
		①計	②うち国産原料		16年度	17年度 (4～12月)
		上段:実績(達成率) 下段:需給計画	上段:実績(達成率) 下段:需給計画	上段:実績(達成率) 下段:需給計画		
アルブミン	25%50ml(瓶)	2,378,600 (78.0%)	1,036,900 (65.6%)	2,660,700 (78.7%)	50.2%	53.6%
		3,048,800	1,580,300	3,380,300		
乾燥人フィブリノゲン	1g	1,900 (95.0%)	1,900 (95.0%)	1,900 (95.0%)	100.0%	100.0%
		2,000	2,000	2,000		
組織接着剤	接着面積(cm2)	6,981,800 (60.6%)	2,566,300 (67.2%)	7,627,800 (78.7%)	40.7%	45.2%
		11,529,100	3,819,000	9,695,700		
血液凝固第Ⅳ因子(遺伝子組換え型含む)	1000単位(瓶)	243,600 (81.7%)	80,700 (78.1%)	230,300 (73.6%)	39.9%	39.7%
		298,100	103,300	312,900		
乾燥濃縮人血液凝固第Ⅲ因子(複合体含む)	1000単位(瓶)	33,500 (89.3%)	33,500 (73.8%)	33,600 (98.2%)	100.0%	100.0%
		37,500	45,400	34,200		
インヒビター製剤	延べ人数(人)	14,600 (105.0%)	0	10,300 (72.5%)	0.0%	0.0%
		13,900	0	14,200		
乾燥濃縮血液凝固第ⅤⅢ因子	(瓶)	106,800 (63.6%)	0	107,600 (73.1%)	0.0%	0.0%
		168,000	0	147,100		
トロンビン(人由来)	10000単位(瓶)	38,900 (109.6%)	38,900 (109.6%)	33,300 (97.9%)	100.0%	100.0%
		35,500	35,500	34,000		
人免疫グロブリン	2.5g瓶(瓶)	916,300 (71.5%)	798,800 (71.7%)	1,130,400 (80.4%)	87.5%	85.7%
		1,280,800	1,114,300	1,405,900		
抗HBs人免疫グロブリン	1000単位(瓶)	17,000 (73.0%)	600 (100.0%)	15,800 (77.5%)	2.7%	2.5%
		23,300	600	20,400		
乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	1000倍	1,900 (26.8%)	0	6,800 (75.6%)	0.0%	0.0%
		7,100	0	9,000		
抗破傷風人免疫グロブリン	250単位(瓶)	72,100 (81.4%)	0	68,700 (77.6%)	0.0%	0.0%
		88,600	0	88,500		
乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	500単位(瓶)	306,900 (78.5%)	293,600 (77.9%)	305,200 (84.1%)	88.0%	94.4%
		391,000	377,000	363,100		
乾燥濃縮人活性化プロテインC	2500単位(瓶)	370	370	60 (15.8%)	100.0%	100.0%
		1,000	1,000	380		
人ハプトグロビン	2000単位(瓶)	33,200 (95.4%)	23,200	35,700 (82.8%)	0.0%	34.3%
		34,800	26,000	43,100		
乾燥濃縮人C1-インアクチベーター	500倍(瓶)	520 (173.3%)	0	480 (106.7%)	0.0%	0.0%
		300	0	450		

注1. 数値は、製品の規格別に報告された数量を集計し、代表的な規格・単位に換算したうえ、四捨五入により100又は10の整数倍で表示した。

注2. 液状タイプの組織接着剤については、接着・閉鎖部位の面積当たりの使用量を勘案して換算し、

平成16年度の血漿分画製剤の需給状況

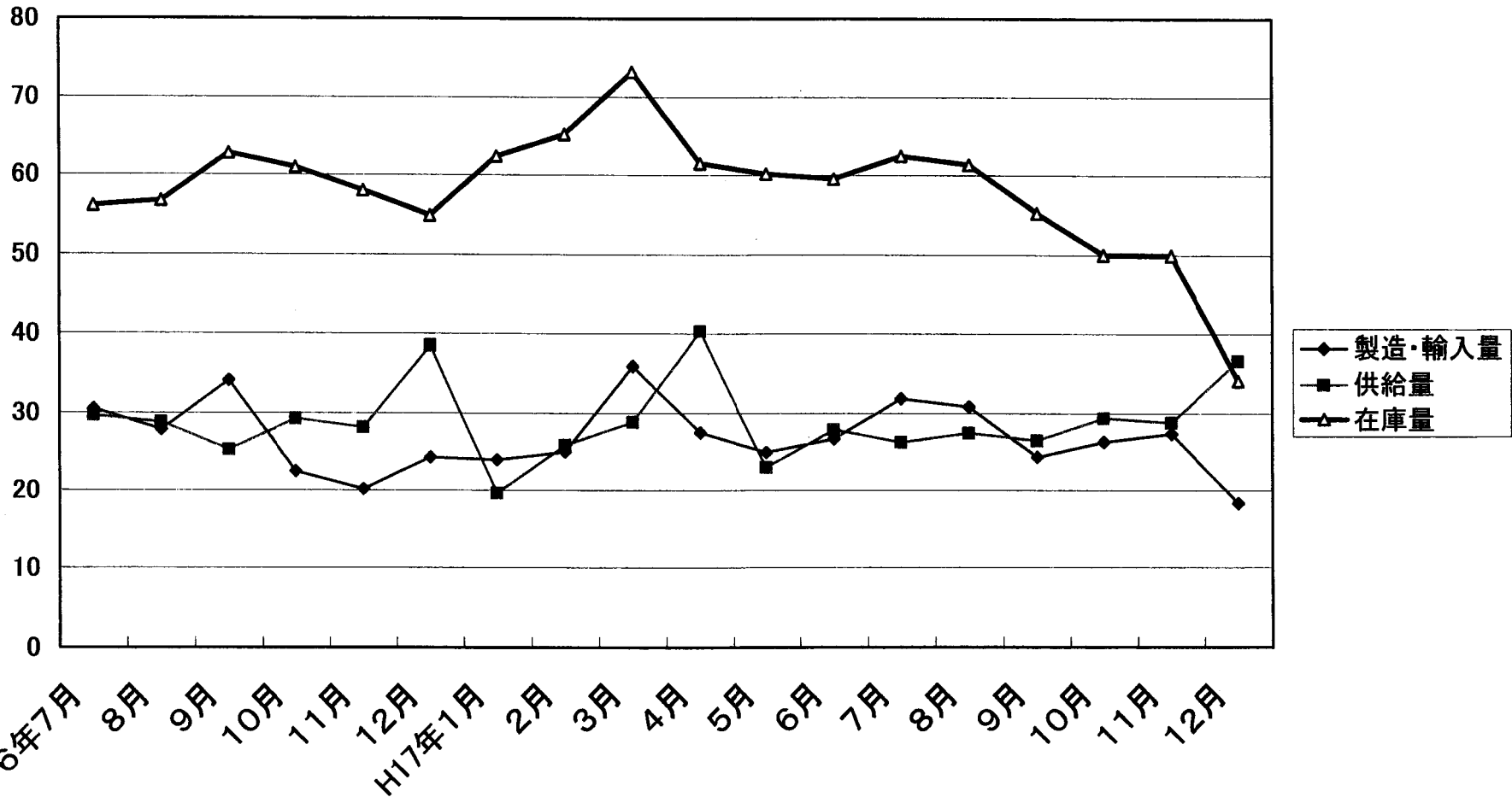
製剤名	換算規格・単位	製造・輸入量		③供給量	自給率(供給ベース)	
		①計	②うち国産原料		15年度	16年度
		上段:実績(達成率) 下段:需給計画	上段:実績(達成率) 下段:需給計画	上段:実績(達成率) 下段:需給計画		
アルブミン	25%50ml(瓶)	3,250,700 (83.1%)	1,856,100 (95.4%)	3,457,500 (93.8%)	47.5%	50.2%
		3,912,800	1,946,500	3,687,400		
乾燥人フィブリノゲン	1g	4,000 (114.3%)	4,000 (114.3%)	2,100 (100.0%)	100.0%	100.0%
		3,500	3,500	2,100		
組織接着剤	接着面積(cm ²)	9,657,100 (81.9%)	4,106,400 (102.0%)	9,411,400 (87.5%)	41.5%	40.7%
		11,789,200	4,025,000	10,757,700		
血液凝固第Ⅷ因子(遺伝子組換え型含む)	1000単位(瓶)	288,400 (96.8%)	115,300 (95.2%)	282,500 (96.2%)	44.1%	39.9%
		297,900	121,100	293,700		
乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子(複合体含む)	1000単位(瓶)	40,000 (117.0%)	40,000 (117.0%)	33,300 (109.9%)	100.0%	100.0%
		34,200	34,200	30,300		
インヒビター製剤	延べ人数(人)	13,500 (125.0%)	0	13,100 (102.3%)	0.0%	0.0%
		10,800	0	12,800		
乾燥濃縮血液凝固第ⅩⅢ因子	(瓶)	82,800 (38.8%)	0	157,700 (103.3%)	0.0%	0.0%
		213,600	0	152,700		
トロンビン(人由来)	10000単位(瓶)	2,300 (25.8%)	2,300 (25.8%)	48,500 (102.8%)	100.0%	100.0%
		8,900	8,900	47,200		
人免疫グロブリン	2.5g瓶(瓶)	1,218,200 (83.7%)	1,078,500 (85.3%)	1,364,200 (98.4%)	86.9%	87.5%
		1,455,900	1,263,800	1,386,300		
抗HBs人免疫グロブリン	1000単位(瓶)	24,200 (119.8%)	600 (100.0%)	20,800 (112.4%)	3.2%	2.7%
		20,200	600	18,500		
乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	1000倍	17,100 (108.2%)	0	9,000 (104.7%)	0.0%	0.0%
		15,800	0	8,600		
抗破傷風人免疫グロブリン	250単位(瓶)	87,500 (62.2%)	0	92,000 (96.5%)	0.0%	0.0%
		140,700	0	95,300		
乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	500単位(瓶)	369,700 (108.5%)	317,300 (106.1%)	376,800 (111.1%)	84.5%	88.0%
		340,600	299,000	339,200		
乾燥濃縮人活性化プロテインC	2500単位(瓶)	520	520 ()	380 (253.3%)	100.0%	100.0%
		0	0	150		
人ハプトグロビン	2000単位(瓶)	38,200 (88.8%)	0	44,100 (102.8%)	0.0%	0.0%
		43,000	0	42,900		
乾燥濃縮人C1-インアクチベーター	500倍(瓶)	230 (28.8%)	0	400 (100.0%)	0.0%	0.0%
		800	0	400		

注1. 数値は、製品の規格別に報告された数量を集計し、代表的な規格・単位に換算したうえ、四捨五入により100又は10の整数倍で表示した。

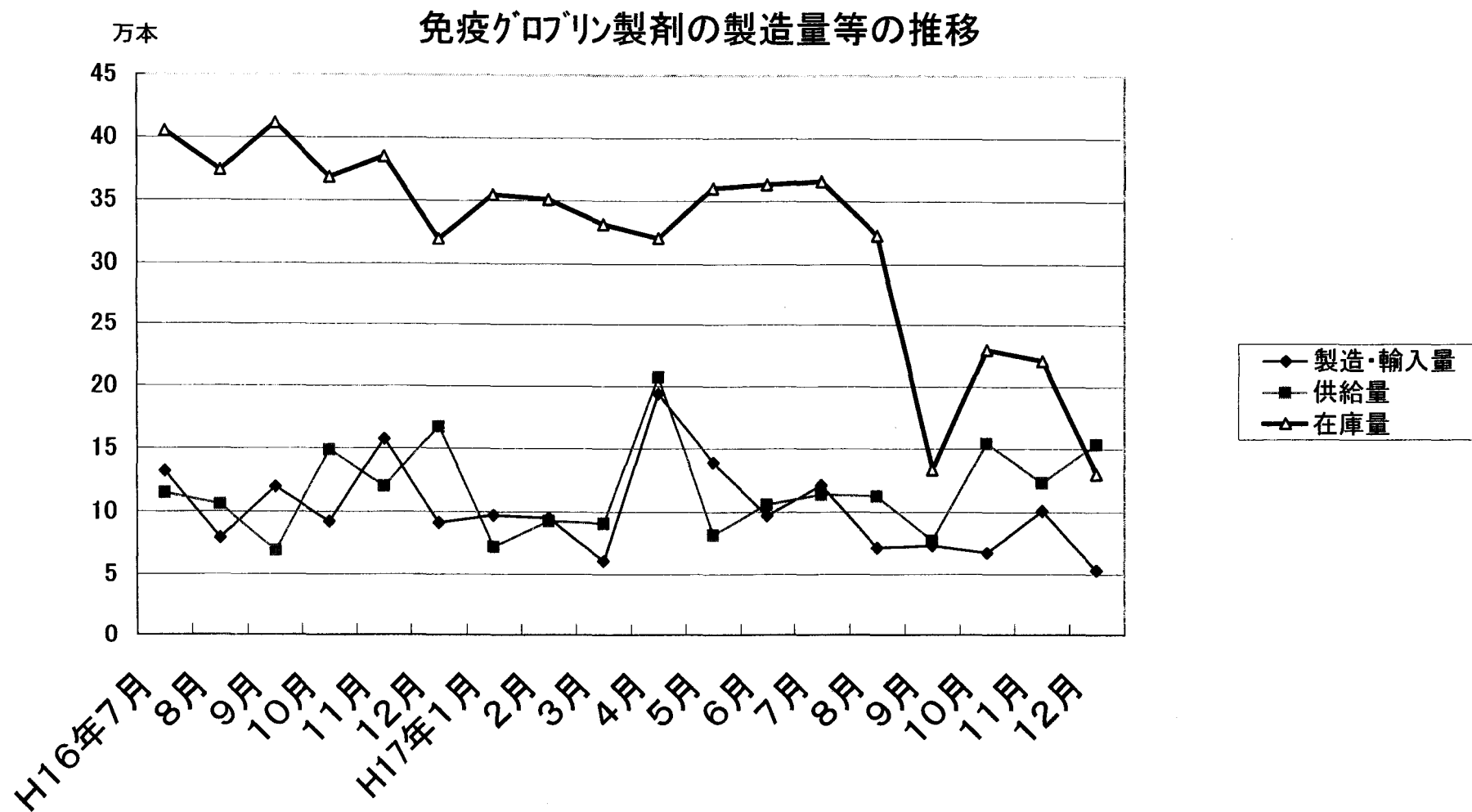
注2. 液状タイプの組織接着剤については、接着・閉鎖部位の面積当たりの使用量を勘案して換算し、インヒビター製剤については、体重50kgの人への投与量を標準として人数で算出した。

アルブミン製剤の製造量等の推移

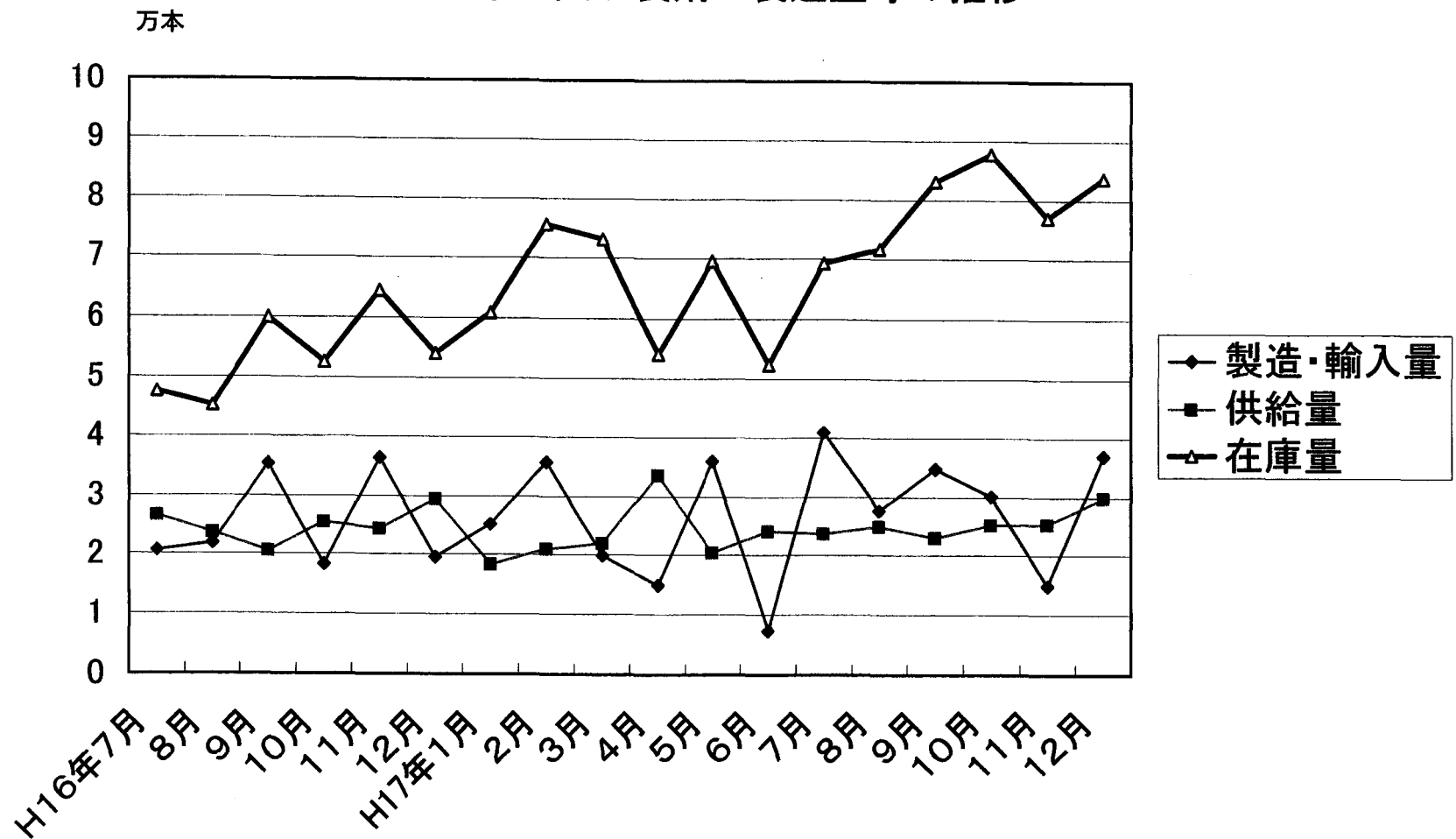
万本



注: 数量は25%50mlの製品に換算したものである

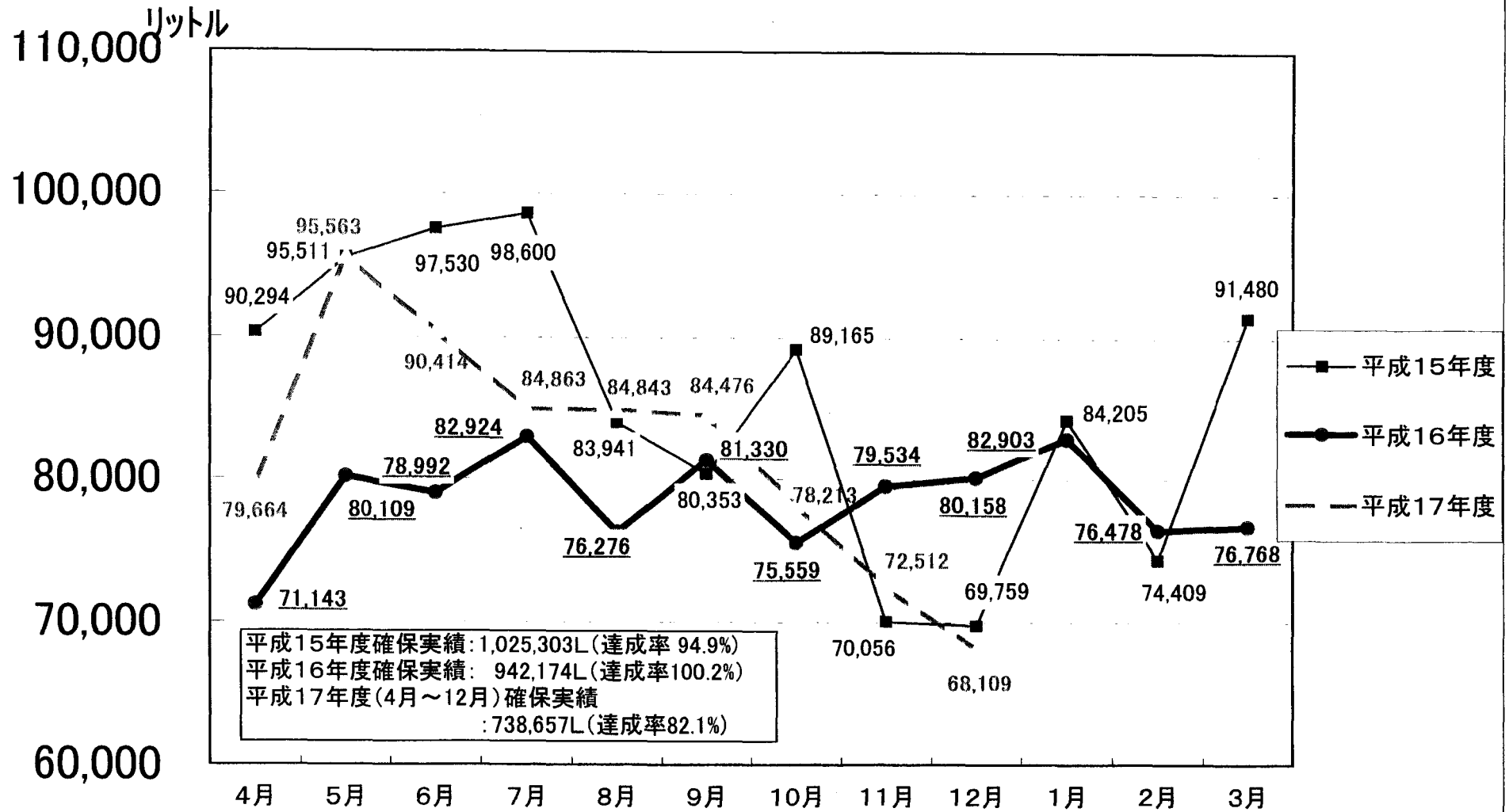


血液凝固第Ⅷ因子製剤の製造量等の推移

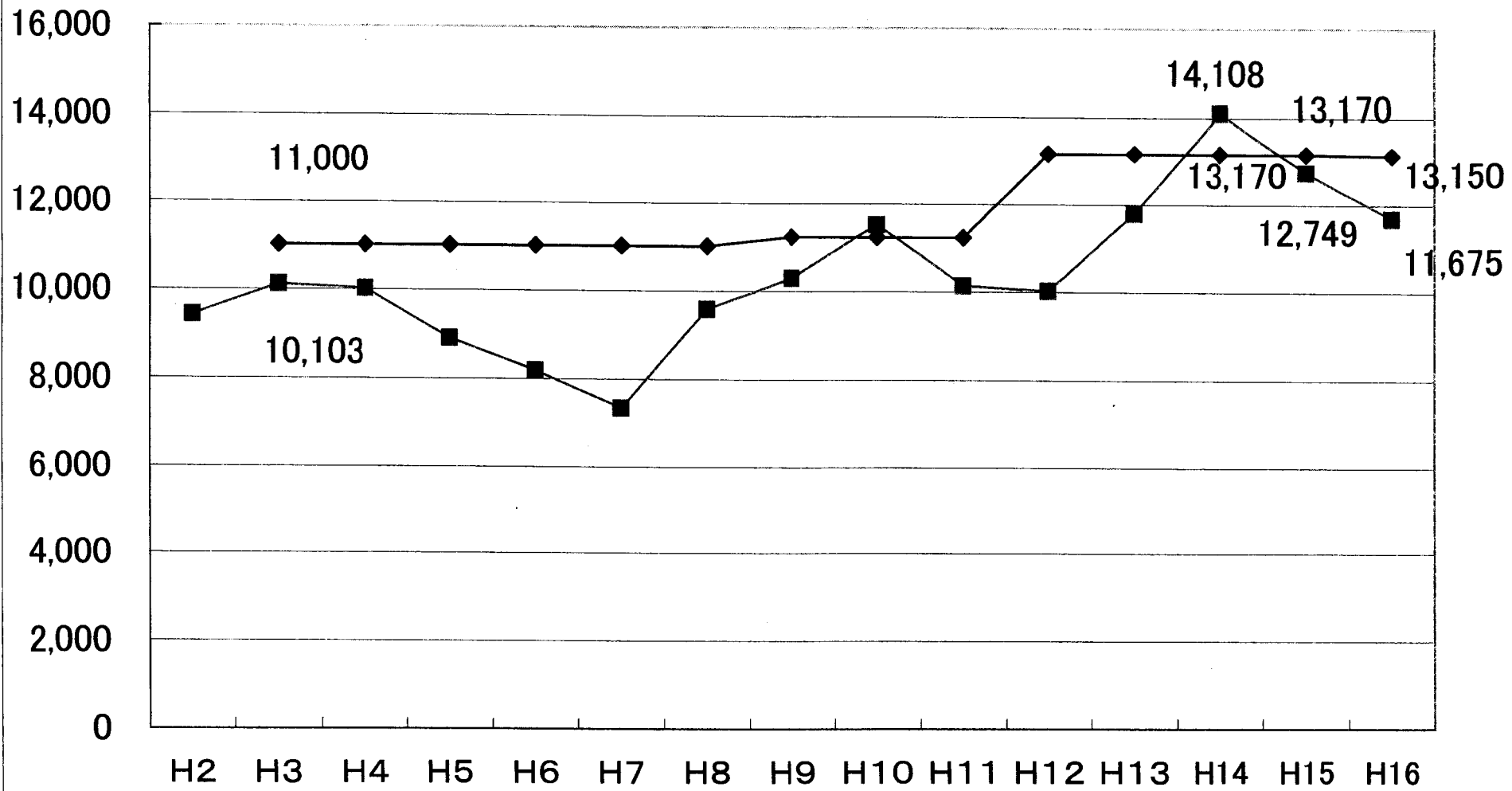


注：数量は、1000単位の製品に換算したものである。

原料血漿確保実績(平成15年4月～平成17年12月)

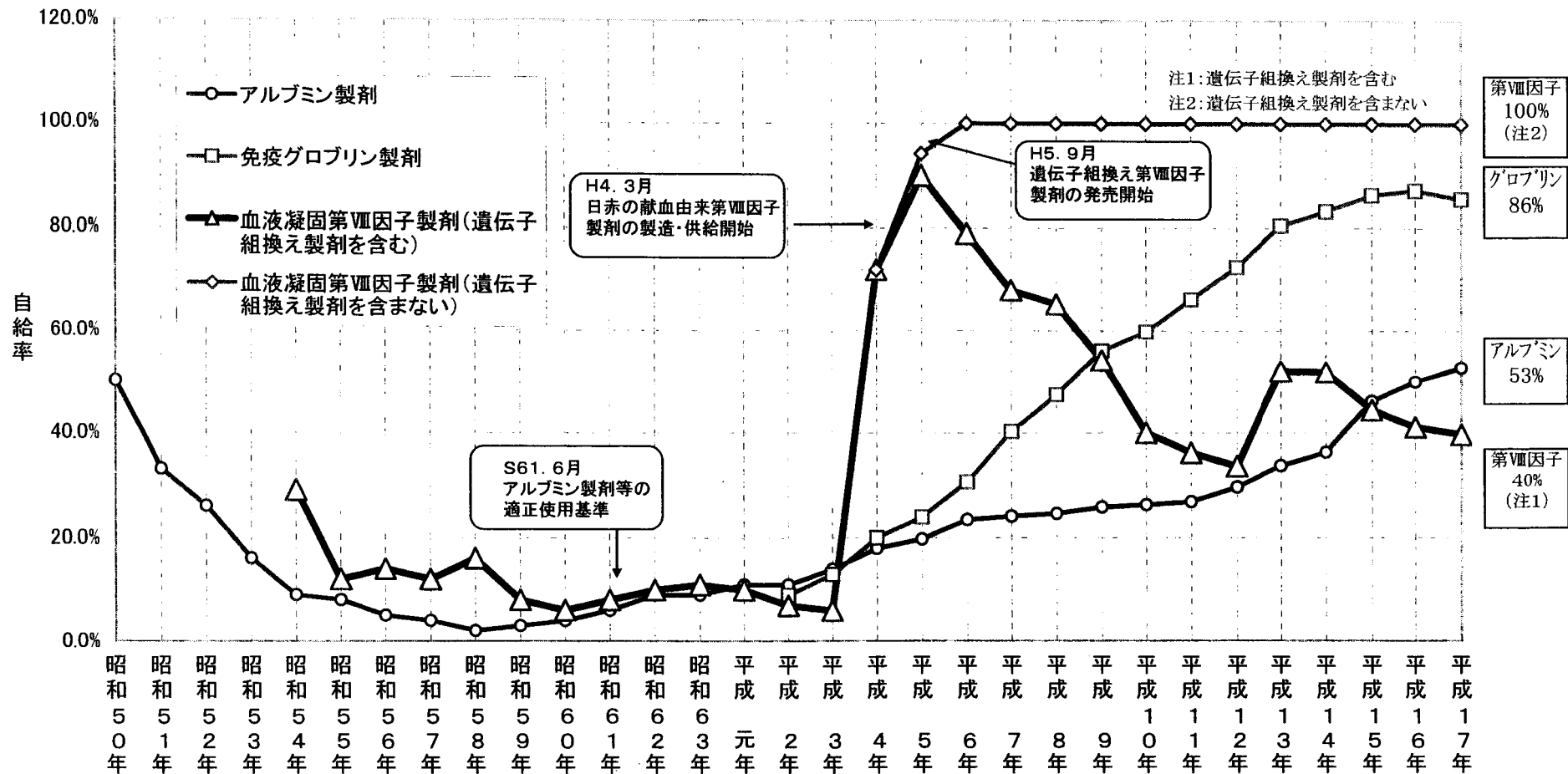


原料血漿価格(日米)の推移

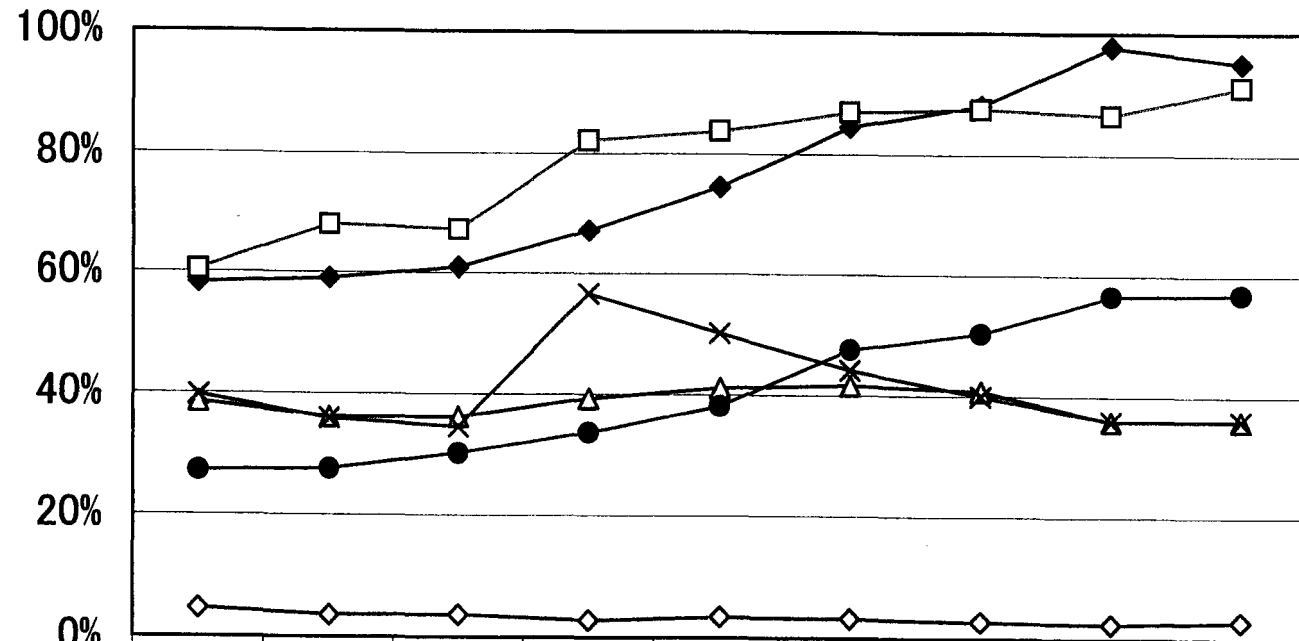


◆原料血漿(日本) ■原料血漿(アメリカ)

血漿分画製剤の自給率の推移 (年次:供給量ベース)



主な血漿分画製剤の自給率の推移（供給量ベース）



	H10年度	H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度(見込)	H18年度(見込)
◆ 乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	58.28%	58.97%	60.86%	67.02%	74.48%	84.46%	88.01%	97.78%	95.09%
□ 人免疫グロブリン	60.37%	67.89%	67.14%	82.13%	83.76%	86.93%	87.51%	86.56%	91.17%
△ 組織接着剤	38.47%	36.06%	36.18%	39.16%	41.05%	41.52%	40.69%	35.82%	35.88%
× 血液凝固第Ⅷ因子(遺伝子組換え型含む)	39.52%	35.67%	34.41%	56.67%	50.18%	44.13%	39.89%	35.82%	35.88%
● アルブミン	27.07%	27.43%	30.09%	33.63%	38.06%	47.53%	50.23%	56.65%	56.98%
◇ 抗HBs人免疫グロブリン	4.57%	3.46%	3.59%	2.76%	3.35%	3.19%	2.72%	2.49%	2.91%

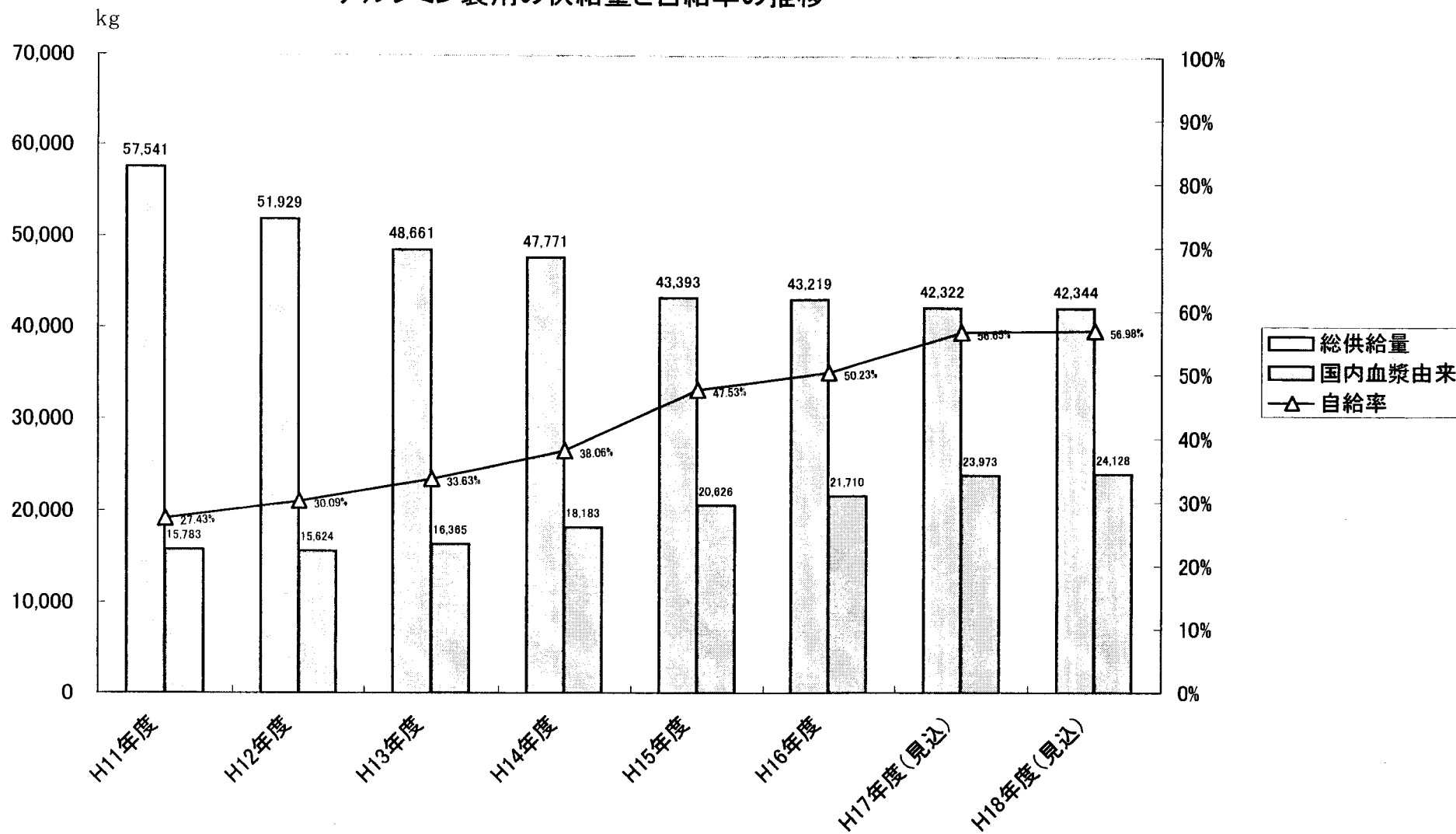
自給率100%のもの

乾燥人フィブリゲン、血液凝固第Ⅷ因子(血液由来に限る)、乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子(複合体含む)、トロンピン、乾燥濃縮人活性化プロテインC

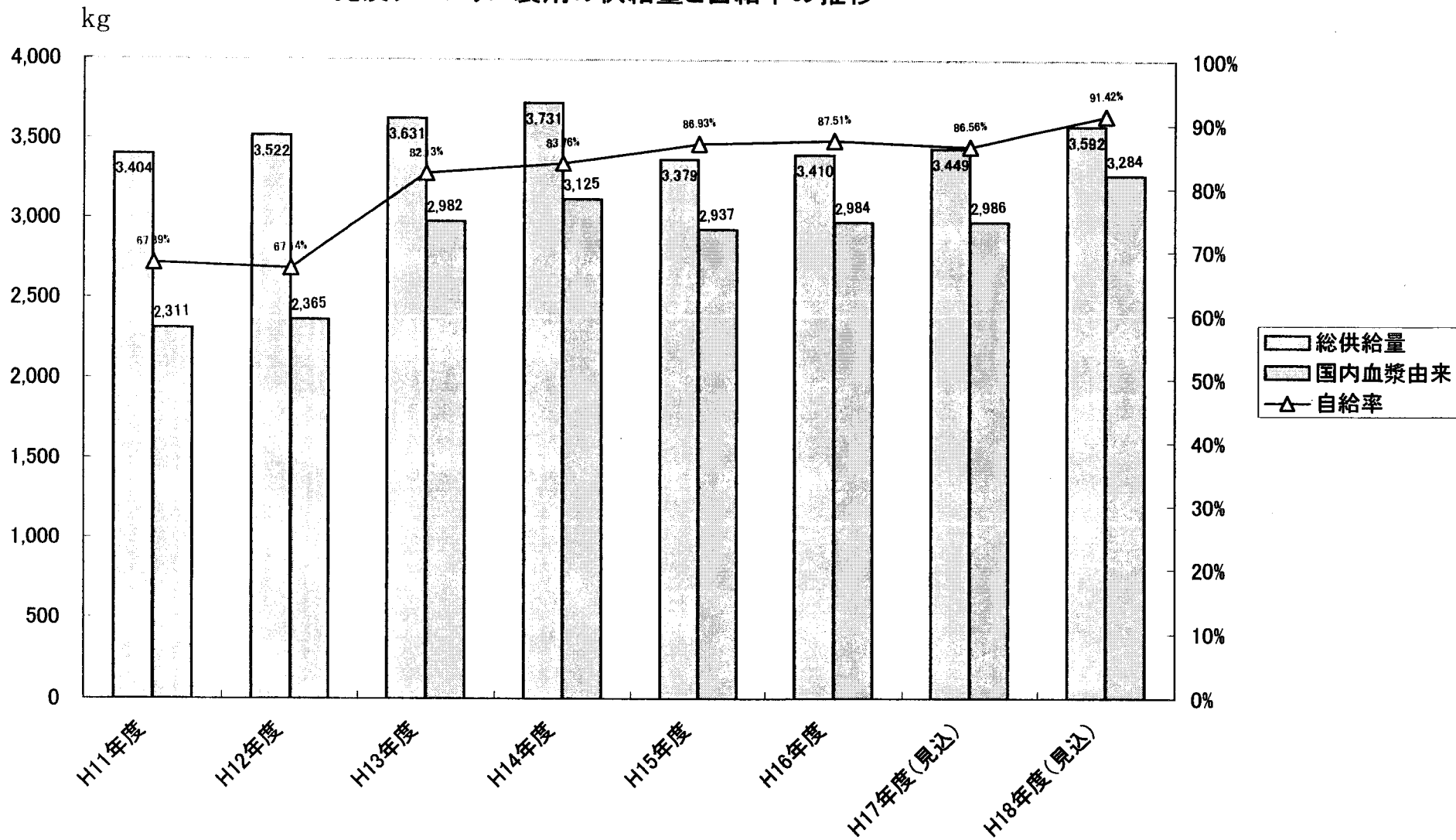
自給率0%のもの

インヒター製剤、乾燥濃縮血液凝固第ⅩⅢ因子、乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン、抗破傷風人免疫グロブリン、人アプトグロビン、乾燥濃縮人CI-インアクチベーター

アルブミン製剤の供給量と自給率の推移

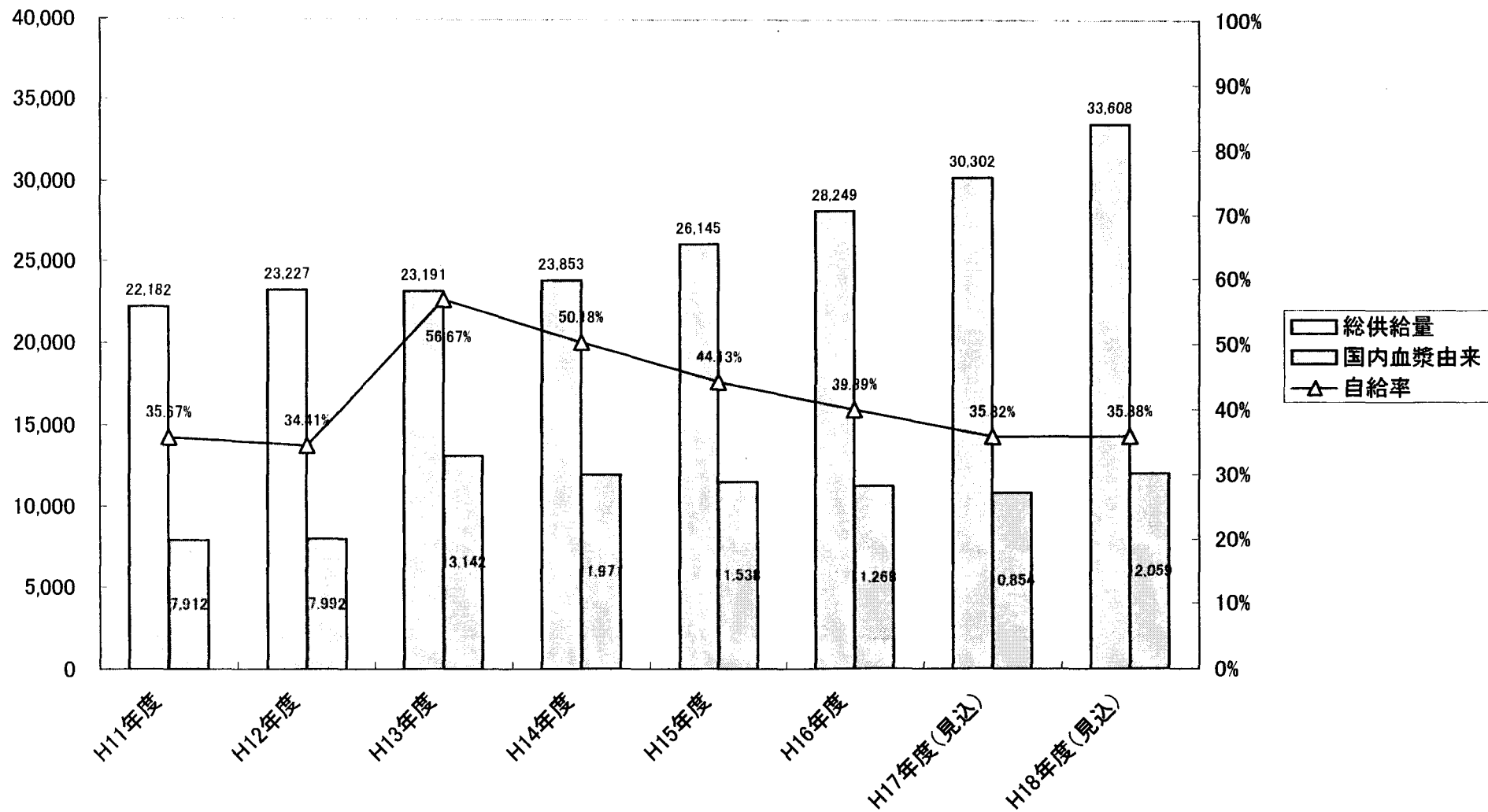


免疫グロブリン製剤の供給量と自給率の推移



血液凝固第八因子製剤の供給量と自給率 (遺伝子組換え型含む)

万単位



血漿分画製剤の製造(輸入)実績報告集計表(平成17年10月分)

	換算規格・単位	前月の末日における血液製剤の種類ごとの在庫量 (本)	製造及び輸入した血液製剤の種類ごとの量 合計(本)		供給した血液製剤の種類ごとの量 (本)	当月の末日における血液製剤の種類ごとの在庫量 (本)
				うち国内原料由来		
アルブミン	25%50ml(瓶)	820,200	262,400	116,500	293,500	788,700
乾燥人フィブリノゲン	1g	800	0	0	300	600
組織接着剤	接着面積(cm ²)	1,976,800	311,800	0	789,600	1,491,000
血液凝固第Ⅷ因子(遺伝子組換え型含む)	1000単位(瓶)	83,100	30,200	11,700	25,200	87,700
乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子(複合体含む)	1000単位(瓶)	11,200	0	0	4,200	7,000
インヒビター製剤	延べ人数(人)	3,200	1,000	0	1,100	3,100
乾燥濃縮血液凝固第ⅩⅢ因子	(瓶)	26,500	0	0	11,100	15,500
トロンピン(人由来)	10000単位(瓶)	24,200	38,900	38,900	3,100	60,100
人免疫グロブリン	2.5g瓶(瓶)	399,500	67,500	48,000	154,600	312,500
抗HBs人免疫グロブリン	1000単位(瓶)	9,900	900	600	1,700	9,000
乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	1000倍	8,800	0	0	600	8,100
抗破傷風人免疫グロブリン	250単位(瓶)	68,700	0	0	6,300	62,400
乾燥濃縮人アンチトロンピンⅢ	500単位(瓶)	65,500	40,000	40,000	27,900	77,500
乾燥濃縮人活性化プロテインC	2500単位(瓶)	400	0	0	0	400
人ハプトグロビン	2000単位(瓶)	22,900	0	0	4,100	18,700
乾燥濃縮人C1-インアクチベーター	500倍(瓶)	270	0	0	60	210

注1. 数値は、製品の規格別に報告された数量を集計し、代表的な規格・単位に換算したうえ、四捨五入により100又は10の整数倍で表示した。

また、月末の数値は在庫品の毀損、期限切れ廃棄等を調整後のものである。

注2. 液状タイプの組織接着剤については、接着・閉鎖部位の面積当たりの使用量を勘案して換算し、インヒビター製剤については、体重50kgの人への投与量を標準として人数で算出した。

血漿分画製剤の製造(輸入)実績報告集計表(平成17年11月分)

	換算規格・単位	前月の末日における血液製剤の種類ごとの在庫量(本)	製造及び輸入した血液製剤の種類ごとの量 合計(本)		供給した血液製剤の種類ごとの量(本)	当月の末日における血液製剤の種類ごとの在庫量(本)
				うち国内原料由来		
アルブミン	25%50ml(瓶)	788,700	273,300	150,300	287,700	774,100
乾燥人フィブリノゲン	1g	600	0	0	200	300
組織接着剤	接着面積(cm2)	1,491,000	835,200	374,700	906,800	1,399,300
血液凝固第Ⅷ因子(遺伝子組換え型含む)	1000単位(瓶)	87,700	14,900	6,900	25,400	76,900
乾燥濃縮人血液凝固第Ⅹ因子(複合体含む)	1000単位(瓶)	7,000	1,200	1,200	2,200	6,000
インヒビター製剤	延べ人数(人)	3,100	4,800	0	900	7,000
乾燥濃縮血液凝固第ⅩⅢ因子	(瓶)	15,500	23,200	0	13,400	25,200
トロンピン(人由来)	10000単位(瓶)	60,100	0	0	5,500	54,500
人免疫グロブリン	2.5g瓶(瓶)	312,500	100,600	100,600	123,300	289,700
抗HBs人免疫グロブリン	1000単位(瓶)	9,000	7,900	0	1,300	15,600
乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	1000倍	8,100	0	0	800	7,300
抗破傷風人免疫グロブリン	250単位(瓶)	62,400	0	0	6,200	56,200
乾燥濃縮人アンチトロンピンⅢ	500単位(瓶)	77,500	22,000	22,000	36,400	63,100
乾燥濃縮人活性化プロテインC	2500単位(瓶)	400	0	0	0	400
人ハプトグロビン	2000単位(瓶)	18,700	1,900	1,900	4,200	16,300
乾燥濃縮人C1-インアクター	500倍(瓶)	210	0	0	20	190

注1. 数値は、製品の規格別に報告された数量を集計し、代表的な規格・単位に換算したうえ、四捨五入により100又は10の整数倍で表示した。

また、月末の数量は在庫品の毀損、期限切れ廃棄等を調整後のものである。

注2. 液状タイプの組織接着剤については、接着・閉鎖部位の面積当たりの使用量を勘案して換算し、インヒビター製剤については、体重50kgの人への投与量を標準として人数で算出した。

血漿分画製剤の製造(輸入)実績報告集計表(平成17年12月分)

	換算規格・単位	前月の末日における血液製剤の種類ごとの在庫量(本)	製造及び輸入した血液製剤の種類ごとの量 合計(本)		供給した血液製剤の種類ごとの量(本)	当月の末日における血液製剤の種類ごとの在庫量(本)
				うち国内原料由来		
アルブミン	25%50ml(瓶)	774,100	183,200	16,400	365,800	591,300
乾燥人フィブリノゲン	1g	300	1,100	1,100	300	1,100
組織接着剤	接着面積(cm ²)	1,399,300	1,351,700	394,100	1,083,900	1,666,800
血液凝固第Ⅳ因子(遺伝子組換え型含む)	1000単位(瓶)	76,900	37,000	17,000	29,900	83,700
乾燥濃縮人血液凝固第Ⅲ因子(複合体含む)	1000単位(瓶)	6,000	8,200	8,200	3,900	10,200
インヒビター製剤	延べ人数(人)	7,000	1,200	0	1,200	7,000
乾燥濃縮血液凝固第Ⅷ因子	(瓶)	25,200	0	0	17,600	7,600
トロンピン(人由来)	10000単位(瓶)	54,500	0	0	4,600	49,900
人免疫グロブリン	2.5g瓶(瓶)	289,700	53,200	42,700	153,600	189,400
抗HBs人免疫グロブリン	1000単位(瓶)	15,600	1,400	0	2,700	14,200
乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	1000倍	7,300	0	0	1,000	6,400
抗破傷風人免疫グロブリン	250単位(瓶)	56,200	0	0	8,000	48,300
乾燥濃縮人アンチトロンピンⅢ	500単位(瓶)	63,100	29,600	29,600	26,100	66,600
乾燥濃縮人活性化プロテインC	2500単位(瓶)	400	0	0	20	380
人ハプトグロビン	2000単位(瓶)	16,300	0	0	5,500	10,800
乾燥濃縮人C1-インアクチベーター	500倍(瓶)	190	0	0	100	90

注1. 数値は、製品の規格別に報告された数量を集計し、代表的な規格・単位の換算したうえ、四捨五入により100又は10の整数倍で表示した。

また、月末の数量は在庫品の毀損、期限切れ廃棄等を調整後のものである。

注2. 液状タイプの組織接着剤については、接着・閉鎖部位の面積当たりの使用量を勘案して換算し、インヒビター製剤については、体重50kgの人への投与量を標準として人数で算出した。